

1. 布佐排水区の整備事業（令和5年7月現在）

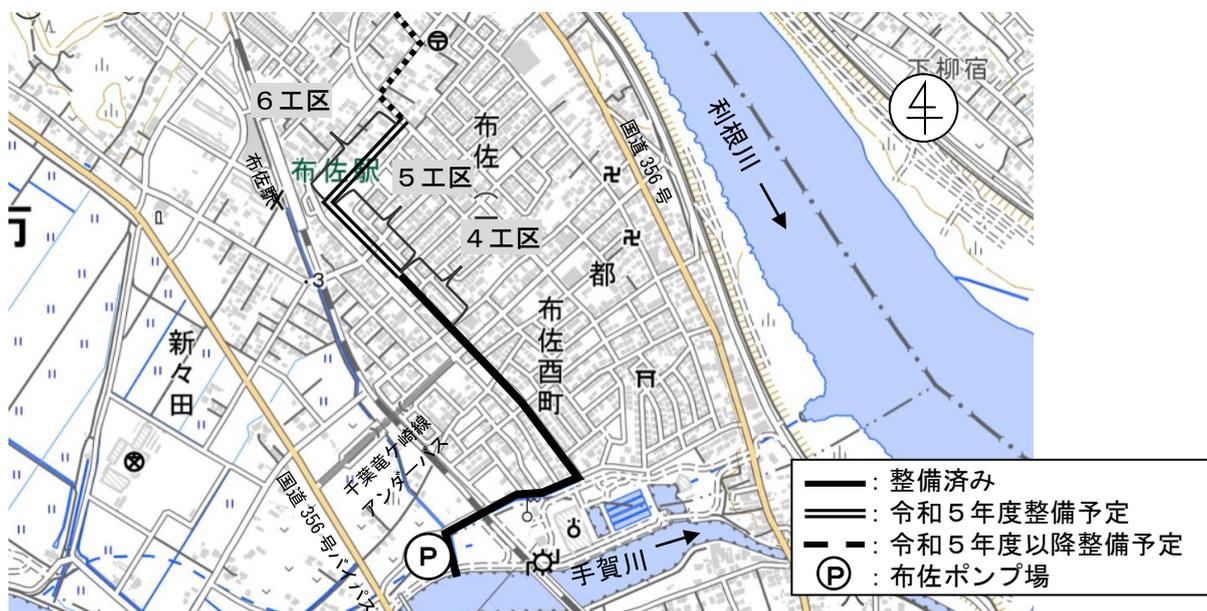
◆ 事業概要

布佐駅東側地区では、放流先である手賀川水位に影響し、一部の地盤低地部において、長年に渡り常襲的な浸水被害が発生しています。このことから、5年確率降雨に対応する雨水排水施設（ポンプ場・雨水幹線）を整備し、浸水被害の軽減を目指しています。

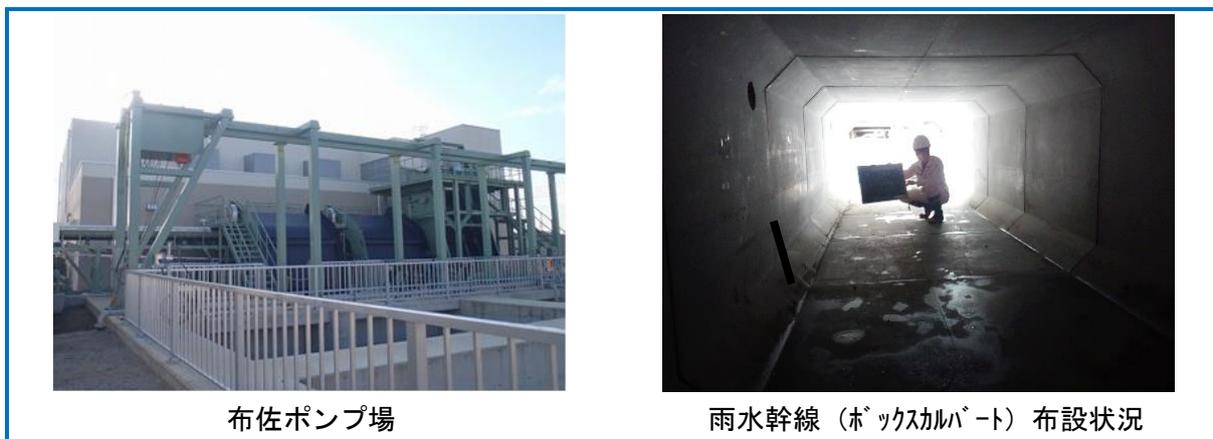
平成26年度に布佐ポンプ場が完成し、それまでの暫定ポンプ場の能力と比較して約10倍の能力になりました。今後は雨水幹線と主要な枝線の整備を進めていきます。（H29から着手）。

排水区面積：204.32ha	事業期間：平成13年度～令和12年度
ポンプ排水能力：8.4m ³ /秒※	総事業費：約57億円

※現時点での排水能力。最終計画は11.850m³/秒。



布佐排水区整備事業の概要図



布佐ポンプ場

雨水幹線（ボックスカバート）布設状況

令和5年度の実施内容

- 雨水幹線整備工事（4工区） 延長約 131m（令和3～4年度継続事業）（令和4年度繰越）（完了済）
- 雨水幹線整備工事（5工区） 延長約 176m（令和4～5年度継続事業）
- 雨水幹線整備工事（6工区） 延長約 198m（令和5～6年度継続事業）